

熊本で起きた 冤罪事件です！

誰もが事件の当事者になる可能性があります。
身近な問題として
考えてみましょう！

免田事件再審無罪判決40周年記念

RKK熊本放送制作・著作番組

「執念～生き抜いた死刑囚～」 上映会



7.23 (日) 13:00-15:00

12:30 開場・受付開始

参加無料/予約不要/一般公開

会場：熊本大学 文法棟 A2 教室

熊本市中央区黒髪2-40-1（黒髪北地区）

※大学構内の駐車場は有料です、できるだけ公共交通機関をご利用ください

2023年7月15日、免田栄氏が再審無罪判決を勝ち取ってから40周年を迎える。戦後の新しい刑事訴訟法下での重大事件第一号となった免田事件には、見込み捜査、拷問が疑われる取り調べ、自白偏重、客観的証拠の軽視といった冤罪の原点と呼ぶべき要素が多くある。袴田事件や大崎事件など、再審請求による裁判のやり直しを求める事件は現在も複数あり、再審に関する法律改正の必要性が指摘されている。本企画では、免田事件再審無罪判決40周年を機に、RKK熊本放送制作・著作番組「執念～生き抜いた死刑囚～」(1984/6/27放送)の上映会を開催し、冤罪と再審請求に関する問題について考えてみたい。



免田栄氏
(撮影/熊本大学文書館)

「免田事件」とは？

日本で初めて死刑囚が再審無罪となった事件。免田栄氏は1949年に逮捕され、自白調書を取られた。公判でアリバイを主張し全面否認に転じたが、一審熊本地裁八代支部で死刑判決を受けた。判決は福岡高裁、最高裁でも維持され、1952年に確定した。免田氏は無実を訴え、第3次請求で再審開始が認められたものの(西辻決定)、検察側の即時抗告により福岡高裁で取り消された。そして**第6次再審請求の末、1983年に無罪が確定した。**

熊本大学黒髪北地区キャンパスマップ



プログラム

- 13:00 - 開会 あいさつ
- 13:10 - 「執念～生き抜いた死刑囚～」(1984/6/27放送) 上映
- 14:00 - 休憩
- 14:05 - 番組解説(文書館市民研究員 牧口敏孝)
- 14:20 - 時事解説「最近の再審状況と問題点」
(熊本大学大学院人文社会科学部 教授・
文書館 併任教員 岡田行雄)
- 14:35 - 質疑応答
- 15:00 - 閉会